DP-130RJ-V3
DP-230LJ-V3

設置マニュアル

ご使用前には、必ずこの設置マニュアルを読み、十分理解のうえ正しくご使用ください。
ご不明な点、ご質問等がある場合は、代理店又は弊社までご連絡ください。
設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに閲覧できるよう大切に保管してください。

もくじ

設置マニュアルは、いつも所定の場所に置き、すぐに閲覧できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意 3
重要なお知らせ 3
機械設置について 4
設置のための注意事項 4
機械設置寸法・重量 4
設置スペース 5
機械吊上げ位置 6
機械の固定 6
梱包金具の取り外しと付属部品の取り付け 7
DP-130RJ-V3／DP-230LJ-V3 共通項目 7
アーム固定ベルトの削除 7
アイロン台取り付け 8
DP-130RJ-V3 のみ対応項目 9
トッパーテーブル取り付け 9
フットペダルの移設 9
スチーム配管工事 10
エアー配管工事 12
電気接続工事 13

<u>設置のために用意していただく部品</u>

・M12 アンカーボルト ・・・4 ヶ
・開閉バルブ （3/8B） ・・・1 ヶ
・開閉バルブ （1/2B） ・・・1 ヶ
・1/2Bスチームトラップ ・・・1 ヶ
（推奨：OVK YH-15A）

- 専用ブレーカー： 10A 程のブレーカーを用意してください。

安全上のご注意

重要なお知らせ

⚠	危　険	当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。
⚠	警　告	当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。
⚠	注　意	当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

危　険

○　電力供給を機械に接続する際は資格を持った作業者があたってください。
○　しっかりとアースケーブルを接続してください。

ー　当該記載事項を守らないと死を招く恐れがあります。

警　告

○　機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
○　機械の運搬は、クレーン、フォークリフトの有資格者が行ってください。
　また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
○　機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
○　協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
○　作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。

ー　当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

注　意

○　すべての蒸気接続部分にシールテープを巻いてください。
○　シールテープ等を巻かなければ、蒸気漏れが発生し、事故の原因になります。

ー　当該記載事項を守らないと作業者の怪我及び機械の重大な損傷に繋がります。

当社は、仕様範囲を超えたご使用に関する如何なる損害も保証しかねます事をご了承ください。

機械設置について

警　告

- ○ 機械の運搬は、十分に機械重量に耐えることができる装置をご使用ください。
- ○ 機械の運搬は、クレーン・フォークリフトの有資格者が行ってください。
  また、機械を吊り上げる場合は、取扱説明書の記載事項を必ず守ってください。
- ○ 機械を持ち上げた状態で、機械の下には絶対に立ち入らないでください。
- ○ 協力的な仕事が必要とされるときは、作業に適している人員を選んでください。
- ○ 作業者が相互の合意なしで作業を進めないでください。
- ○ 複数の作業者で運搬を行う場合は、手による合図、声による合図、旗による合図等で
  安全を確認して作業を行ってください。

ー 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

設置のための注意事項

下記の条件を満たすよう、機械設置をおこなってください。

- ● 機械が直射日光あるいは雨天にさらされない屋内条件で設置を行ってください。
- ● 水平な床への設置を行ってください。
  床が水平でない場合、敷板（スペーサー）で調整を行ってください。
- ● 塵やホコリがない環境で設置を行ってください。
- ● 重心に注意して慎重に設置を行ってください。
  機械の正面と右側面の下部に、重心ポイントのシール（右図のもの）が
  貼ってあります。

重心ポイント

- ● 十分な作業スペースを機械の周りに確保してください。
- ● 機械の運搬は、機械重量に十分に耐えることができる装置をご使用ください。

機械設置寸法・重量

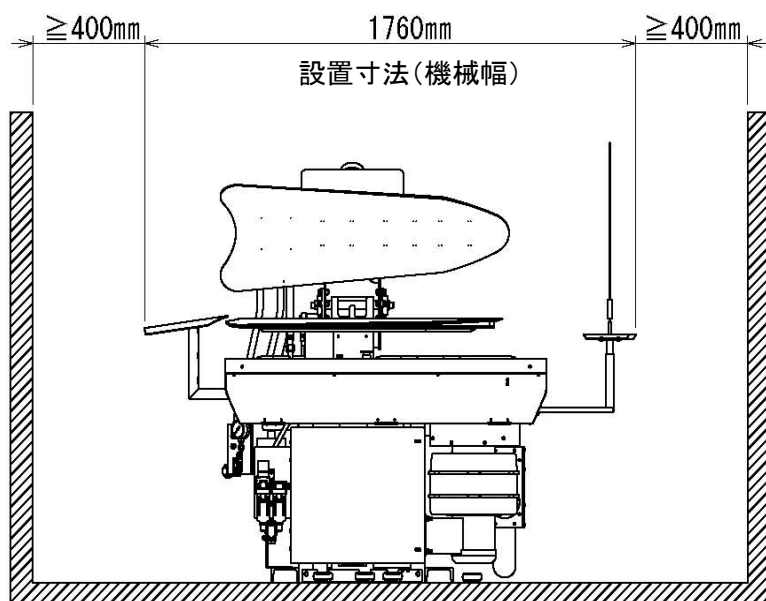
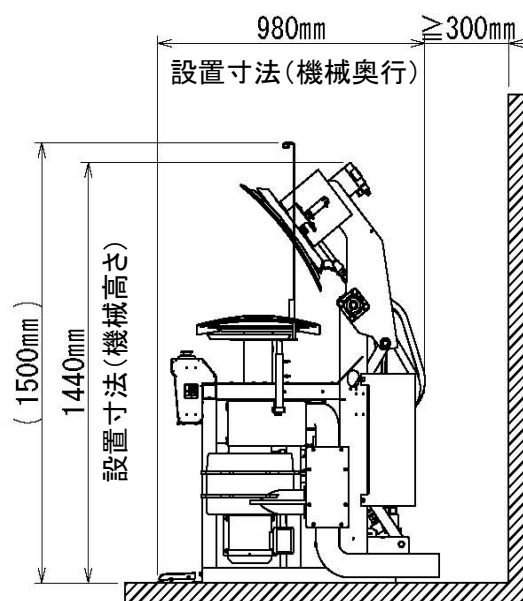
	（機械幅×機械奥行×機械高さ）	（重量）
DP-130RJ-V3	1760mm × 980mm × 1440(1500)mm	・ 300kg
DP-230LJ-V3	1470mm × 990mm × 1440(1500)mm	・ 290kg

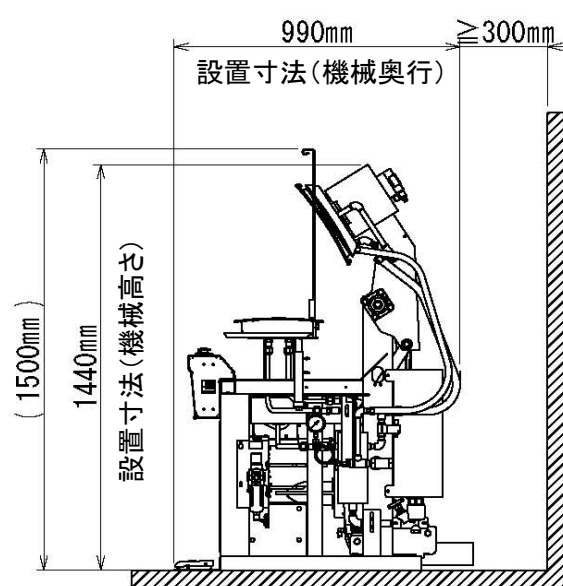
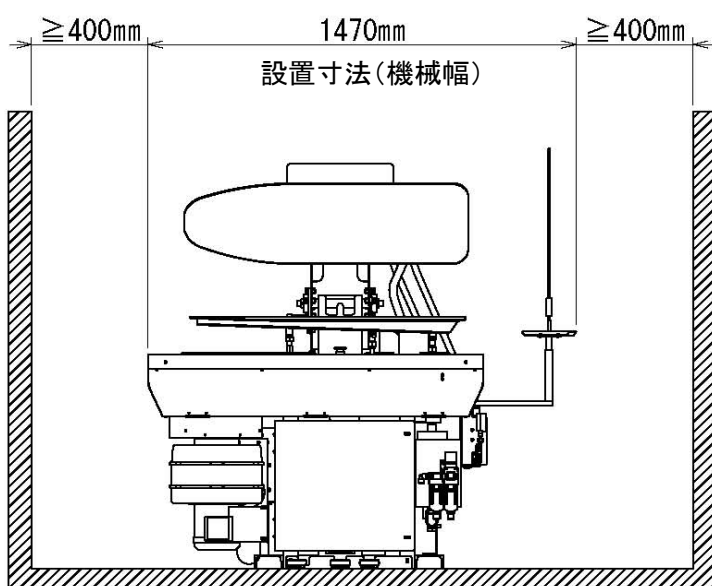
※機械設置寸法とは・・・機械が動作した時の最大寸法を示します。
　機械が動作中に、前後・左右または上下に動作した時の、最大位置の寸法を示します。

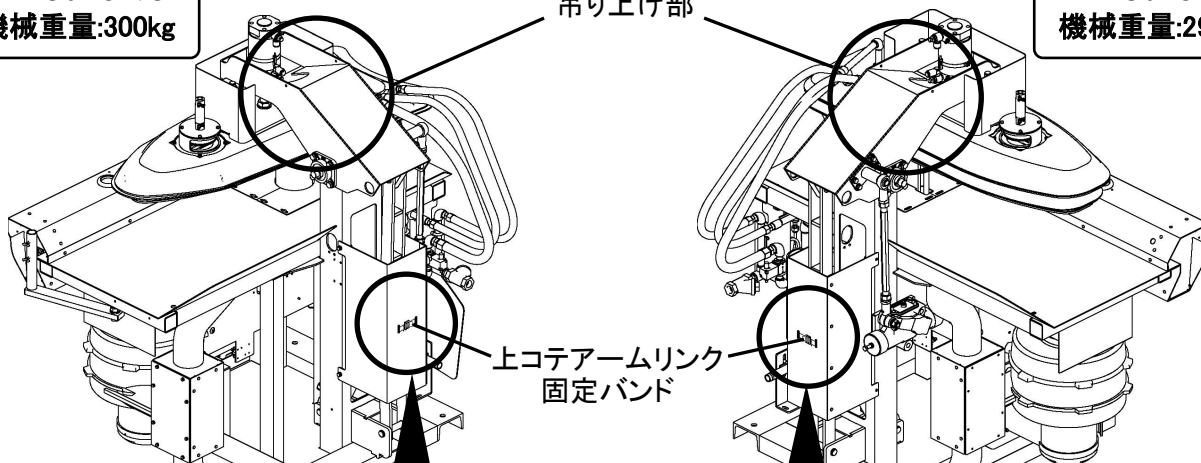
設置スペース

設置には、壁や周辺設備との間に十分な作業スペース、またはメンテナンススペースを配慮してください。

- ・このスペースは、設置管理者によって適正位置に配置してください。
- ・下図に、配慮すべき最小スペースの参考図を示します。

DP-130RJ-V3

機械正面　　機械側面

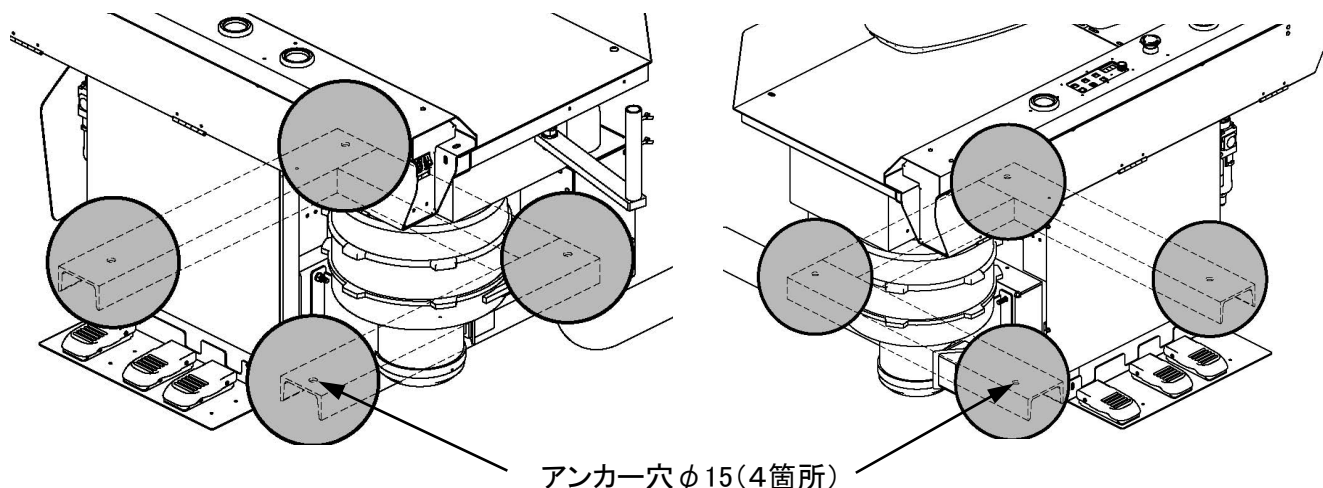
DP-230LJ-V

機械吊上げ位置

搬送の際機械を吊上げる時には、下記図の位置に吊り具を掛けてください。
また吊り具は、機械重量に十分耐えられるものをご使用ください。

警告 上コテアームリンクがバンドで固定されていることを確認してから、機械の吊上げ作業を行ってください。固定されていない状態で吊上げますと、アームが開いてしまい、機械の破損やケガをする恐れがあります。

機械の固定

機械を設置場所まで移動して、床の上に設置してください。
・この時、機械に過度のショックを与えないでください。
・設置する床は機械の重さに十分耐える構造であることを確認してください。

- 4ヵ所の固定用穴をＭ１２アンカーボルトでしっかりと固定してください。

⚠ **警告**　固定せずに機械を使用しないでください！

梱包金具の取り外しと付属部品の取り付け

⚠ 注意	・搬送固定用ビニールひもの開梱を忘れないようにしてください。 ・梱包金具、梱包用のひも(ベルト)を外す前に、エアーは絶対に供給しないでください。

DP-130RJ-V3／DP-230LJ-V3 共通項目

1. 可動部を固定しているビニールひもを解いてください。

2. 上コテアームの梱包用アーム固定ベルトを切ってください。・・・ 図-1 参照

注意 ヒモを切る前に、エアーは絶対に供給しないでください。

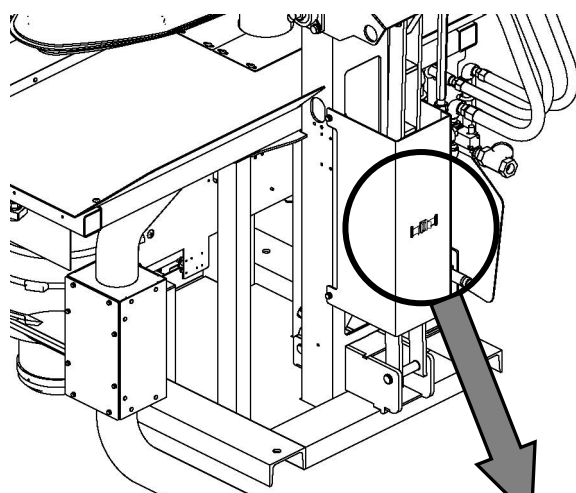
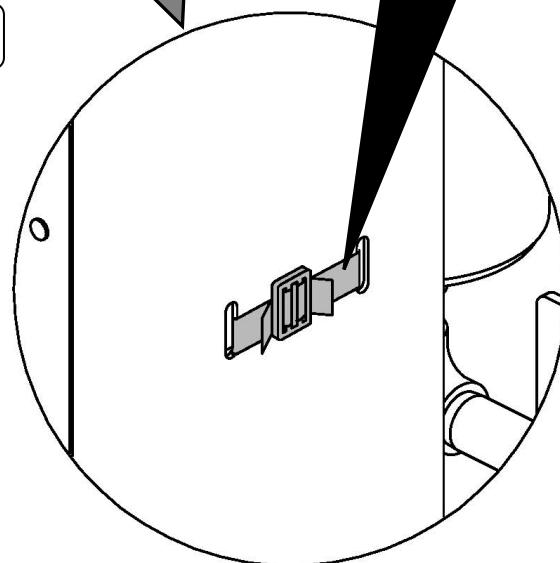
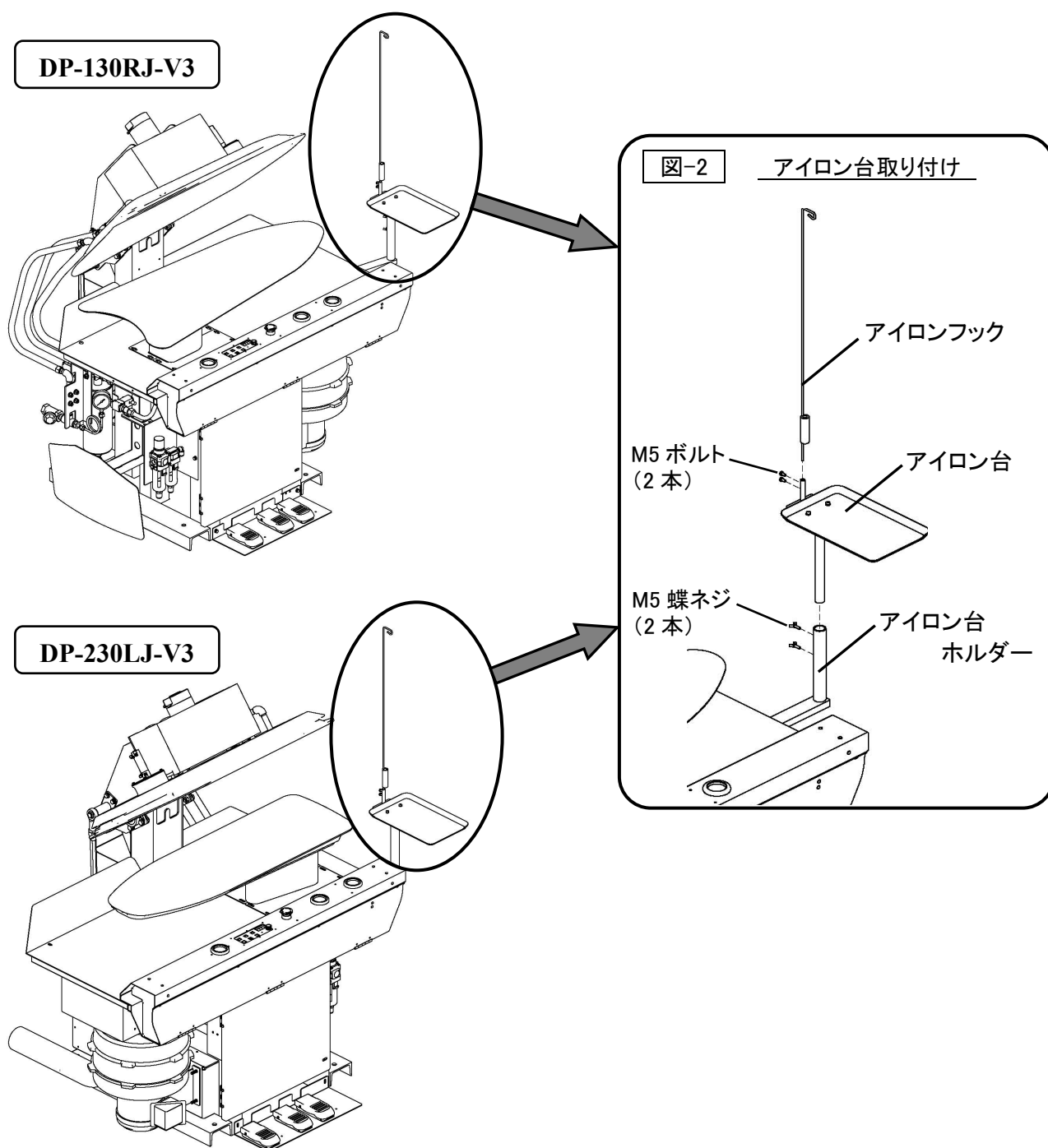
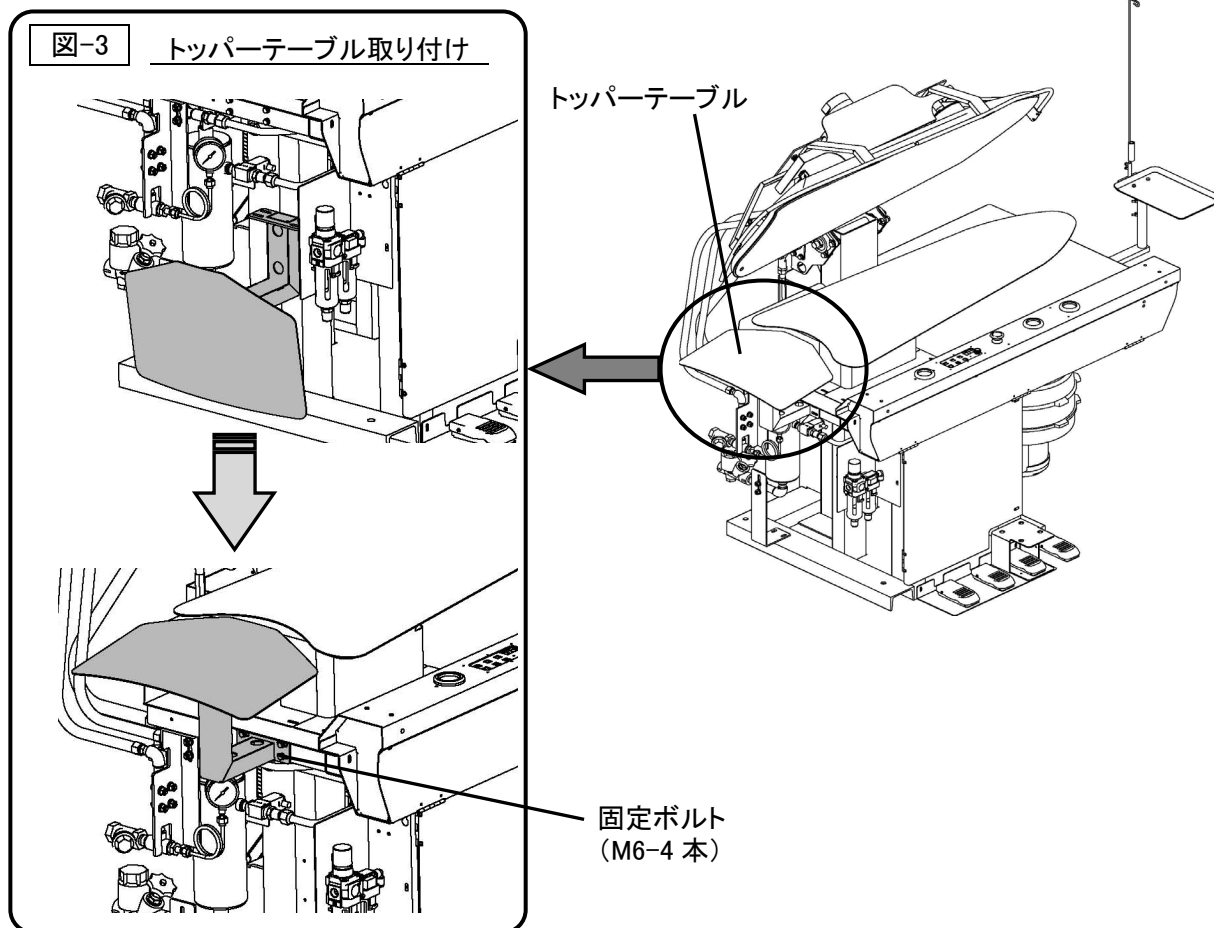
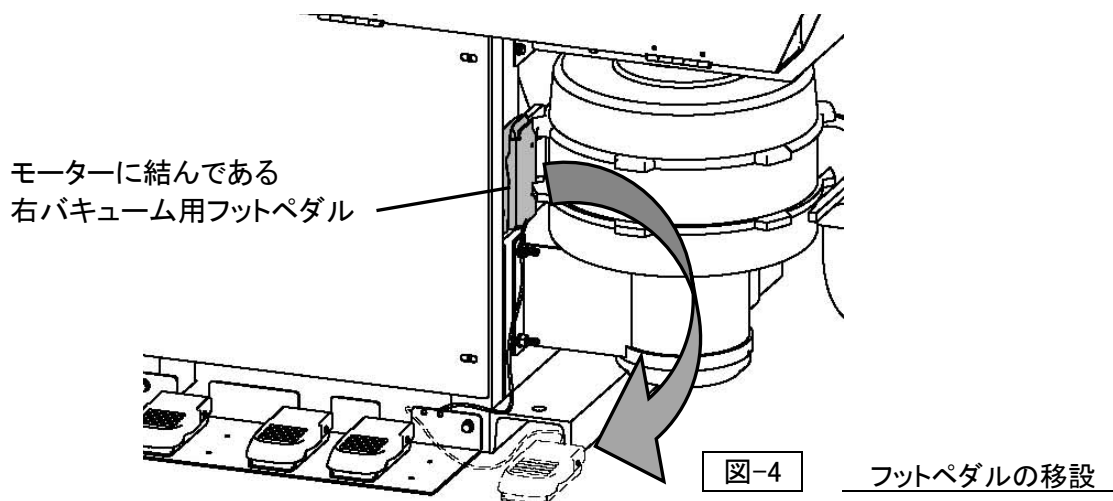



図-1 アーム固定ベルトの削除

3.　アイロン台の取り付け・・・ 図−2 参照
別梱包されているアイロン台を、取り付けてください。

(1) 機械右側のアイロン台ホルダーにアイロン台を差し込んで、2 本の蝶ネジで固定してください。

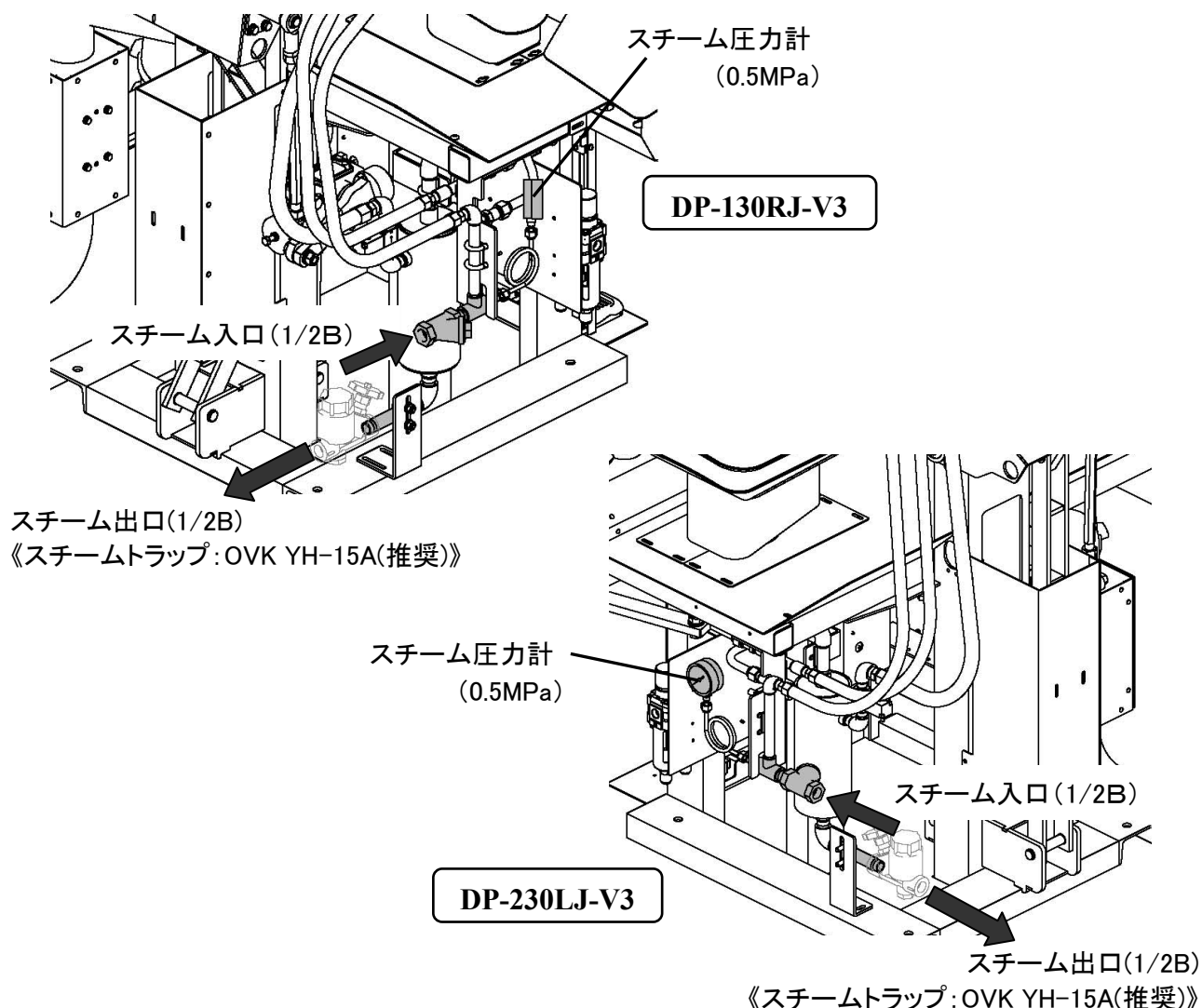
(2) アイロン台にアイロンフックを差し込み、2本のボルトで固定してください。

DP-130RJ-V3 のみ対応項目

1. トッパーテーブルの取り付け・・・ 図－3 参照
   機械の左側面下部に取り付けてあるトッパーテーブルを外して、機械の左側面に M6 ボルト（4 本）で固定してください。

2. フットペダルの移設・・・ 図-4 参照
   右側面のモーターに結んである、右バキューム用フットペダルを取り外して、踏み易い位置に置いてください。

スチーム配管工事

スチーム消費量	：10kg/時
スチーム規定圧	：0.5MPa
スチーム配管口径	： 入口 ：1/2B, 出口 ：1/2B

- スチーム配管を接続してください。
  修理の際にスチームの供給を止められるように、<u>入口側には開閉用バルブを取付け</u>てください。
- 本機でのスチームの消費量は、10 kg/時です。
  この容量以上が供給できる環境で使用してください。
- スチーム出口には、<u>必ずスチームトラップを取り付け</u>てください。
- 配管工事により出た金属粉などが配管内に入らないよう接続する前に、十分にフラッシングをしてから配管を接続してください。

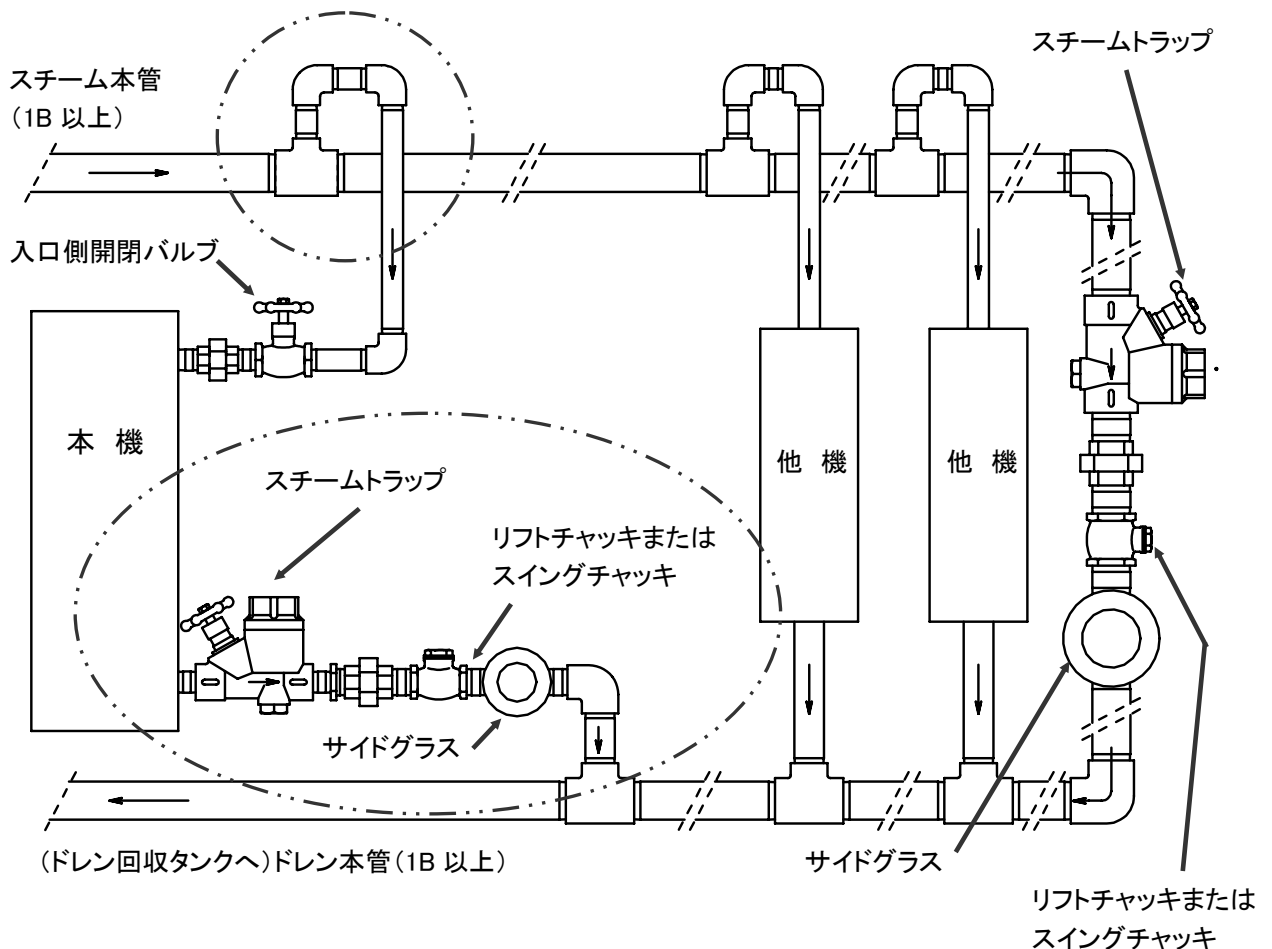
⚠ 注意

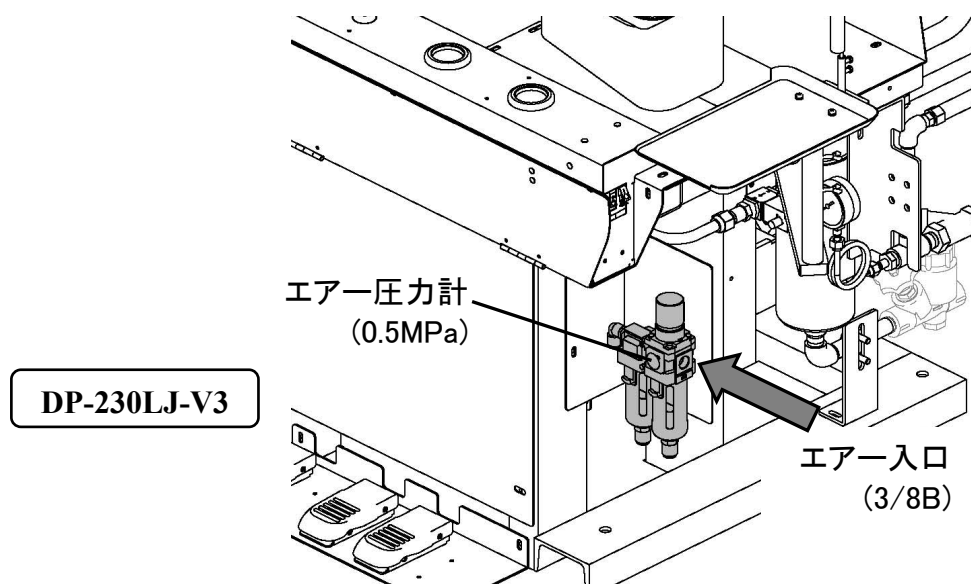
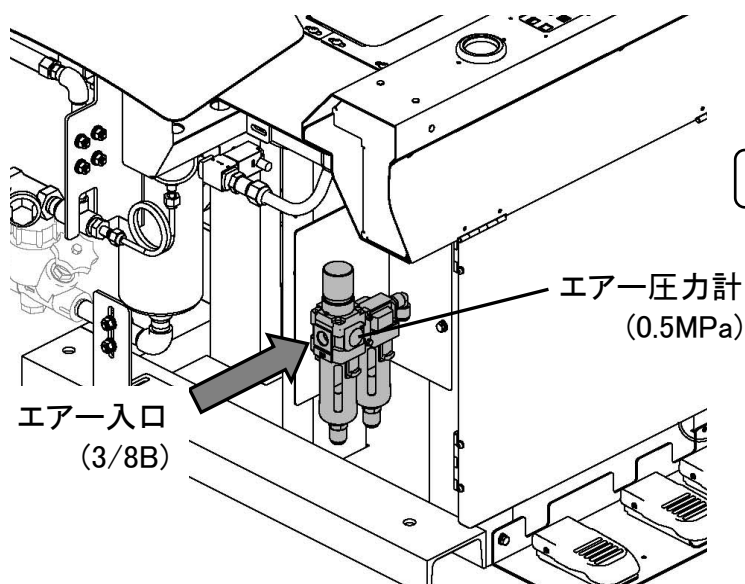
・接続部分には必ずシールテープを巻いてください。
シールテープを巻かなければ、蒸気漏れが発生し、事故の原因になります。

≪参考≫

● スチーム配管における注意事項

機械にドレンが流れ込まないためや、機械より出たドレンが速やかに排出するために、下図を参照に配管工事を行ってください。

1. 供給側配管は、スチーム本管より立ち上げてから機械に接続してください。(ドレンの流入防止)
2. 機械の排出側(スチーム出口)が複数ある時は、必ず個々にスチームトラップ・リフトチャッキ(上下方向に取付ける時はスイングチャッキ)を取付けてドレン本管まで単独で配管するようにしてください。またサイドグラスを取付けて、ドレンの抜けの状態が確認できるようにしてください。
   ※ 配管を 1 本にまとめてから、スチームトラップを取付けるのは避けてください。
3. スチームトラップより後の配管は、スチームトラップの前側より太くして、ドレンの流れを良くしてください。
4. スチーム及びドレンの各本管はできるだけ太くして(1B以上)、流れ方向に勾配をつけてドレンが流れやすいようにしてください。

エアー配管工事

エアー消費量	: 1125 ﾘｯﾄﾙ/時
エアー規定圧	: 0.5MPa
エアー配管径	: 1/2B

- エアー配管を接続してください。
  修理の際に、エアーの供給を止められるように、**入口側には開閉用バルブを取付け**てください。
- エアー圧力 0.5MPa で安定した清浄なエアーを使用してください。
  多量のドレン、化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む圧縮空気は、空圧機器の作動不良の原因となります。
- 本機でのエアーの消費量は、1125 ﾘｯﾄﾙ/時です。
  この容量以上のエアーが供給できる環境で、使用してください。
- エアーチューブを用いて配管する場合は、チューブ径が 12mm以上のものをご使用ください。
- 配管工事により、出た金属粉などが配管内に入らないよう接続する前に、十分にフラッシングをしてから配管を接続してください。

電気接続工事

電力： 単相 230V 0.75kW
電源ケーブル ： 電力線（2 pcs ）+ アース線（ 1pcs）
機械のブレーカーと定格電流: GV2-ME10 4 – 6.3A

・電力供給を機械に接続する際は資格を持った人が作業にあたってください。
・しっかりとアースケーブルを接続してください。

— 当該記載事項を守らないと生命及び身体の重大な被害に繋がります。

次の手順で接続作業を行ってください。

1） アースケーブルを緑の線、又は ⏚ マークへ接続してください。

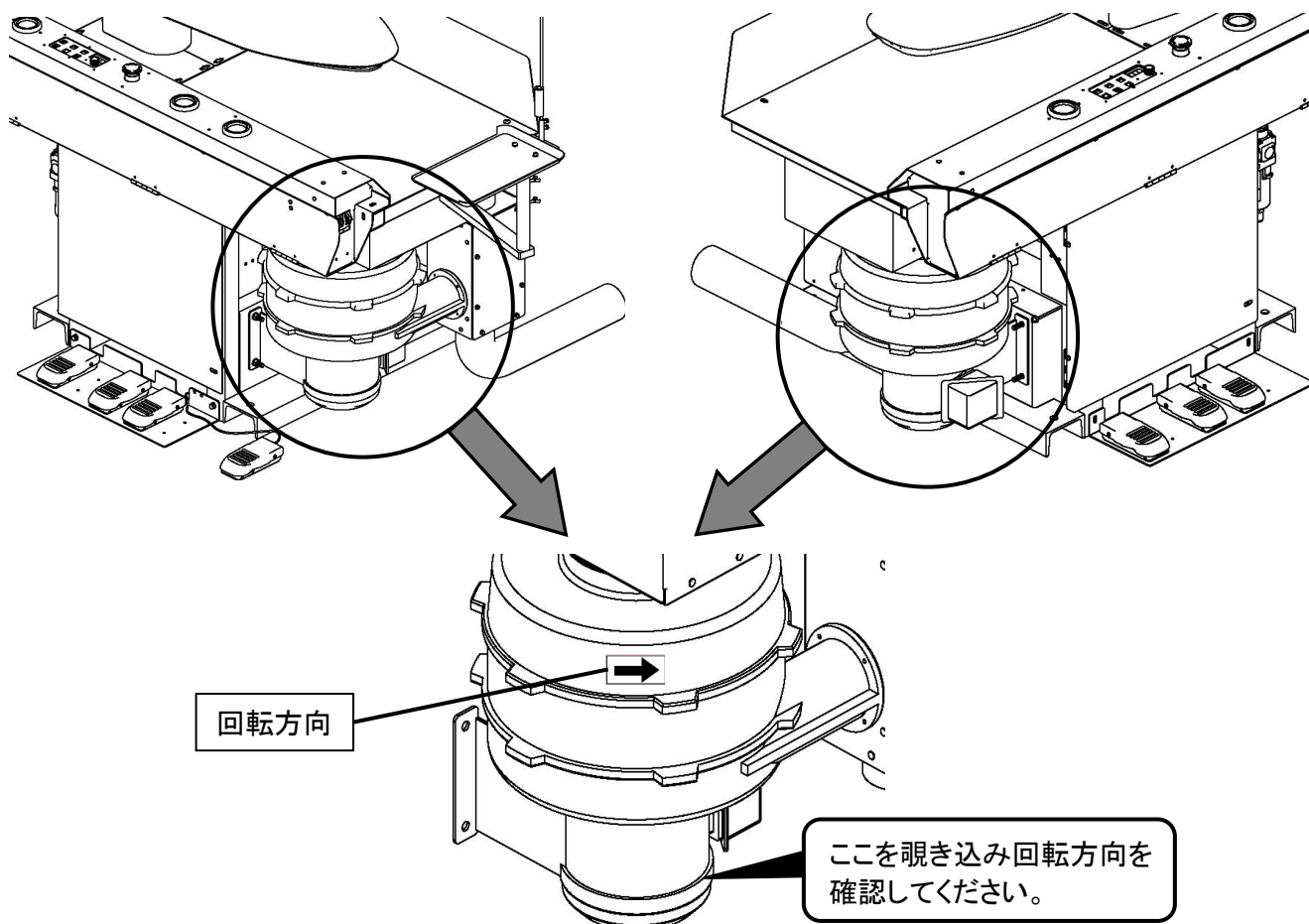
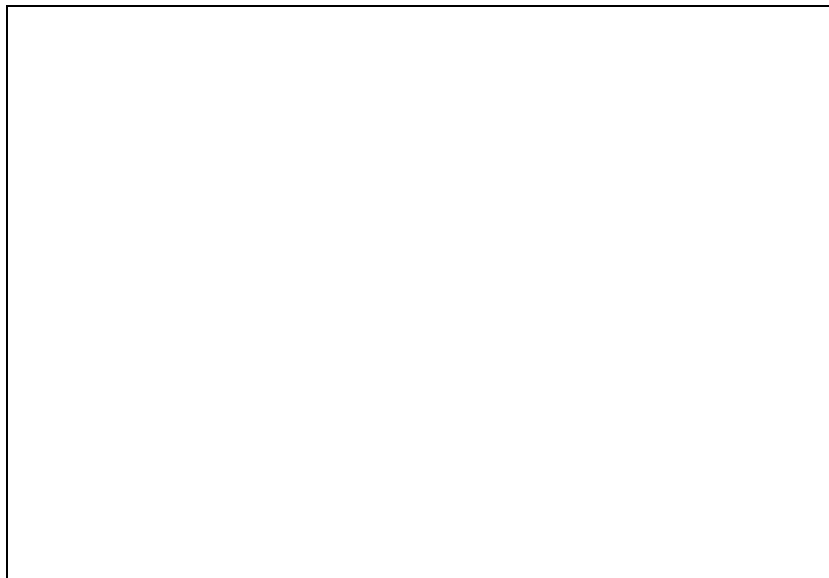
2） 電源ケーブルを、工場側ブレーカーの出力端子と接続してください。

3） 電気配線工事が終了したら、電気を投入しモーターの回転方向を確認してください。

DP-130RJ-V3

DP-230LJ-V3

回転方向

ここを覗き込み回転方向を
確認してください。

DP-130RJ-V3
DP-230LJ-V3
2012. 08,　2